

2018（平成30）事業年度

決 算 報 告 書

自：2018（平成30）年4月1日

至：2019（平成31）年3月31日

国立大学法人熊本大学

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,306	14,587	281	(注1)
施設整備費補助金	5,118	3,735	△ 1,383	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,101	1,944	843	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	—	
自己収入	34,647	36,366	1,719	
授業料、入学料及び検定料収入	6,138	6,030	△ 108	(注4)
附属病院収入	27,680	29,321	1,640	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	829	1,015	186	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,149	4,985	△ 163	(注7)
引当金取崩	—	26	26	(注8)
長期借入金収入	730	665	△ 64	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	225	91	△ 134	(注10)
計	61,314	62,439	1,124	
支出				
業務費	46,493	47,130	636	
教育研究経費	18,682	18,742	60	(注11)
診療経費	27,811	28,387	576	(注12)
施設整備費	5,886	4,438	△ 1,448	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,101	1,944	843	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,149	4,764	△ 384	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,685	2,672	△ 13	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	61,314	60,949	△ 365	
収入-支出	—	1,489	1,489	

○予算と決算の差異について

- (注1) 特殊要因運営費交付金等の追加配分のため、予算額に比して決算額が281百万円多額となっています。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が1,383百万円少額となっています。
- (注3) 各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が843百万円多額となっています。
- (注4) 授業料徴収対象者数の減に伴う授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が108百万円少額となっています。
- (注5) 増収努力に努めたこと等により、予算額に比して1,640百万円多額となっています。
- (注6) 自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が186百万円多額となっています。
- (注7) 共同研究及び受託事業の受入減により、予算額に比して決算額が163百万円少額となっています。
- (注8) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。
- (注9) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が64百万円少額となっています。
- (注10) 事業計画の変更により、予算額に比して決算額が134百万円少額となっています。
- (注11) (注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。
- (注12) 附属病院収入の増収に伴う医薬品の支出増等により、予算額に比して決算額が576百万円多額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,448百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が843百万円多額となっています。
- (注15) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が384百万円少額となっています。
- (注16) 借入時期の変更等により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。